



栃木県立今市工業高等学校

全
日
制



所在地 〒321-2336 日光市荊沢615番地
電話 0288-21-1127
FAX 0288-22-2444
URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/imaichikogyo/nc2/>
創立 昭和39年
課程 全日制課程
設置学科 機械科・電気科・建設工学科
生徒数 340名(男子306名 女子34名)(令和3年4月1日現在)
利用交通機関 JR日光線「今市駅」より約4 km、
関東バス「今市-小林、塩野室」線「今工前」下車徒歩2分
東武日光線「下今市駅」より約3 km

I 学校の概要

1 学校教育目標

健全な心身 たくましい実践力 豊かな創造性 をもった工業人の育成

2 目指す学校像

- 地域から信頼され、社会に貢献できる人材を育成する学校
- 規範意識や道徳心を養い、社会を生き抜く確かな学力を育成する学校
- 工業の基礎基本となる知識・技能を習得し、技術者倫理を身に付け、社会変化に適応できる工業人を育成する学校

3 募集する生徒像

明確な進路目標をもち、次の(1)から(3)までの全てに該当する生徒

- (1) 基本的生活習慣および、中学校までの基礎学力を身に付けており学習の意欲が高い生徒
- (2) 志望する学科の特長を理解し、“ものづくり”や資格取得などに関する興味・関心が強い生徒
- (3) 部活動・生徒会活動などに、入学後も継続的に取り組むことができる生徒

II 学科の特色と学習内容

1 学科の特徴

本校は、機械科、電気科、建設工学科の3科があり、エネルギーや環境に配慮した“ものづくり”を目指した教育を行っています。

◎機械科

「新たな時代の“ものづくり”産業に柔軟に対応できるエンジニアを育成する」

＜学習内容＞

- ①生産技術と周辺諸技術に関する基礎的・基本的な知識・技能を習得します。
- ②機械・電子・情報の広範な総合技術の基礎を学びます。
- ③実習等を通じて、広く工業人として必要な資質・態度・マナーを養います。

◎電気科

「電気に関するあらゆる分野のエンジニアを育成する」

＜学習内容＞

- ①電気の基本的な知識と技術、発電・送電・モータなどの電力技術、トランジスタ・ICを利用した電子技術、コンピュータ、ロボットなどの情報技術を習得します。
- ②計画的に資格試験等を設定し、それらの資格を取得できるように学習します。
- ③第三種電気主任技術者認定学校であり、その教育課程に基づき学習します。
- ④実習を通して、工業人として必要な資質・態度・マナーを養います。

◎建設工学科

「環境や空間をつくるエンジニアを育成する」

<学習内容>

- ①土木コースは、道路・鉄道、上・下水道、河川・港湾や土地利用などの分野で計画、測量、設計および施工についての基礎的・基本的な知識と技術を習得します。
- ②建築コースは、住宅、商店、工場やビルなどの各種の構造物の計画、施工についての基礎的・基本的な知識と技術を習得します。
- ③情報化社会に対応できるコンピュータの基礎的な知識と技術を習得します。
- ④建設工事に使用される材料やそれに伴う試験・測量等の基礎的・基本的な知識と技術を習得します。
- ⑤社会での即戦力を目指し、各種資格試験に取り組みます。

2 学習内容

各科とも1年次から共通科目以外に専門科目が多くあります。2年次にはインターンシップ、3年次には課題研究が設定されています。

◎本校で取得可能な資格・検定

計算技術検定 情報技術検定 パソコン利用技術検定 危険物取扱者（乙種1～6類） 危険物取扱者（丙種） ガス溶接技能講習 ボイラー取扱技能講習 二級ボイラー技士 アーク溶接特別教育 小型車両系建設機械運転特別教育	機械製図検定 基礎製図検定 2、3級技能士（機械加工） JIS手溶接技能者評価試験 JIS半自動溶接技能者評価試験 2、3級技能士（電子機器組立て） 第三種電気主任技術者 2級電気工事施工管理技師補 2級電気通信工事施工管理技術検定 情報処理技術者	第二級陸上特殊無線技士 第二種電気工事士 第一種電気工事士 第二級デジタル通信 2級土木施工管理技師補 2級建築施工管理技師補 測量士補 建築製図検定 建築技術検定 建設業経理事務士 3、4級技能士（建築大工）
--	---	---

Ⅲ 進路状況（令和2年度）

1 卒業後の進路状況

	機械科	電気科	建設工学科	合 計	総 計
県 内 就 職	57	20	12	89	96
県 外 就 職	1	5	1	7	
大 学 ・ 短 大	0	1	1	2	32
大学校・専門学校	11	8	11	30	
そ の 他	0	1	2	3	3
合 計	69	35	27	131	131

（人）

2 主な就職先

民間	足尾さく岩機/荒川組/カワダ今市工場/大昌電子/ TERADA WOD/東武建設/東武ワールドスクウェア/徳力精工/バンベスト/光工業/富士食品工業/古河電気工業/古河機械金属/古河電気工業/古河電池/丸彦製菓/三菱商事ライフサイエンス/積水化成品東部/千歳商会/京浜精密工業/ジーエムいちほら工業/タマダ工業/ヤマウチ/ヤマト運輸/宇都宮機器/エム・イー・エム・シー/クボタ/サンユー/ダイセキ/栃木イエローハット/不二工機/増渕組/ミットヨ/奴寿司/キヤノン/三和テッキ/ジェイ・バス/住友電工産業電線/中央電機通信/栃木ダイハツ販売/HAMATEC/平田機工/北原工業/日本サーモスタット/東京鉄鋼/日産自動車/神戸製鋼所/関電工/改伸工業/日立グローバルライフソリューションズ/日立ジョンソンコントロールズ空調/関東電気保安協会/NTT東日本-関信越/東京電力パワーグリッド/共立建設
公務員	栃木県警察/日光市消防/自衛隊自衛官候補生

3 主な進学先

大学・短大	宇都宮大学/駿河台大学
大学校・専門学校	関東職業能力開発大学校/栃木県立県央産業技術専門学校/栃木県農業大学校/埼玉県立春日部高等技術専門学校/宇都宮日建工科専門学校/宇都宮メディア・アーツ専門学校/大原スポーツ公務員専門学校宇都宮校/大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校宇都宮校/国際情報ビジネス専門学校/国際テクニカル調理製菓専門学校/栃木県美容専門学校/マロニエ医療福祉専門学校/国際医療福祉大学塩谷看護専門学校/日産栃木自動車大学校/太田情報商科専門学校/専門学校トヨタ東京自動車大学校/東京クールジャパン/文化服装学院

IV 特別活動等の紹介

1 部活動・同好会

本校部活動は運動部、文化部共に盛んに活動しています。運動部ではソフトテニス部や県内でも珍しいフィールドホッケー部が関東大会、インターハイ出場などの実績を持っています。

文化部では科学研究部など工業高校ならではの部活動があります。令和元年度には、機械科生徒が「ジャパンマイコンカーラリー」の全国大会に出場するなど、様々な分野での活躍がみられました。

野 球	バレーボール	写 真 ・ 美 術	機 械 研 究
ソフトテニス	バスケットボール	科 学 研 究	電 気 研 究
ホ ッ ケ ー	陸 上 競 技	書 道	建 設 研 究
サ ッ カ ー	柔 道	ボランティア	軽音楽同好会
卓 球	剣 道		



フィールドホッケー部



ジャパンマイコンカーラリー全国大会

2 特色ある教育活動

「地域から信頼され、地域に貢献できる学校づくり」を目標に、機械科、電気科、建設工学科の3科が協力して、ものづくり教育と地域貢献活動に取り組んでいます。これまでに「再生可能エネルギー」の利用として、小水力発電によるLEDイルミネーションやソーラー発電によるLED街路灯、カウンタダウンボードなどを駅前や公園に設置してきました。また、日光市と連携協定を結び、地元日光の美化、活性化に取り組んでいます。ほかにも中学校での出前授業や小・中学生対象のものづくり体験教室など、“ものづくり”の楽しさを広める活動を継続的に行っています。



LEDイルミネーションの設置



大室小へジャンピングボードの寄贈



出前事業

3 主な学校行事

主な学校行事としてスポーツ大会、マラソン大会、文化祭、体育祭のほか、学年で実施の産業施設見学、2年次には修学旅行、インターンシップ等があります。



インターンシップ



高校生未来の職業人育成事業（左官）



体育祭

V 特色選抜について

1 定員の割合

機械科	30%程度
電気科	30%程度
建設工学科	30%程度

2 出願するための資格要件

基本的な生活習慣と中学校で習得すべき基礎学力を身に付けており、次の（１）又は（２）のいずれかに該当する者

- （１）志望する学科の特長を理解し、“ものづくり”や資格取得などに関する興味・関心が強く、入学後も積極的に取り組むことができる者
- （２）部活動・生徒会活動などに関し、意欲的に取り組んでいる生徒で、入学後も継続的に取り組むことができる者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間15分程度
作 文	時間30分 字数300～400字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計する。（135点満点）
- 3 調査書の点数化されない部分（「特別活動の記録」、「行動の記録」）については、段階評価を行う。また、調査書の点数化されない部分の前述以外のもの（「文化活動・スポーツ活動・社会活動・特技等の記録」、「総合的な学習の時間の記録」）については、資格要件に該当するものを評価する。
- 4 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の80%以内にある者（ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の80%以内にある者）で、【資料の取扱い】の3及び4の評価が、いずれも良好である者、もしくは適性があると認められた者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。